

海東小学校だより

第6号

令和7年12月11日
宇城市立海東小学校
発行 校長 中村

創立150周年に向けて①

海東小学校創立150周年に向けて、節目の年でもありますので、子ども達の心に残るような取組を進めています。主な取組を、紹介します。

◆地域を見つめる～元寇750周年全国サミットの取組から～◆

今年は、創立150周年の年ですが、元寇から750周年のとしでもあります。昨年宇城市から、元寇全国サミットに発表依頼が来ていきましたので、昨年度の6年生（現中学1年生）から取組を始めました。総合的な学習でこれまで6年生は「未来をつくろう～海東の魅力発信～」というテーマで学習を進めてきましたが、昨年度の6年生は、元寇について学習をもとに竹崎季長公と海東地域のつながりについてまとめ、全校児童に発表してくれました。

今年度の6年生は、前年度の取組をもとに学習を深めるだけでなく、自分達にできることはいか考え活動したこと含めて、11月19日に松浦市で開かれました「元寇所縁子どもサミット」で全国に向けて立派に発表（オンライン参加）しました。

これまでの取組について、先日新聞にも紹介されました。1月24日（土）の150周年記念式典の中で、6年生が子どもサミットで発表したことやその後の活動について発表する予定です。

竹崎季長ゆかりの地 大切に 宇城市・海東小児童ら清掃

宇城市小川町の海東小6年生が1日、鎌倉時代の武将、竹崎季長の墓がある同町の平原公園を、地元住民でつくる「むつみ会」の会員と初めて清掃した。元寇で活躍し、海東地区を治めた季長について学んだことがきっかけ。月1回、トイレ清掃や草刈りをしているむつみ会は「季長公も喜んでいる」と歓迎した。

海東小6年生7人は11月中旬、8県29市町・区でつくる「元寇所縁のネットワーク」がオンラインで開いた子どもサミットに参加。季長ゆかりの海東阿蘇神社や、季長を助けたとされる肥前国（佐賀県）出身の白石通泰について学習成果を

発表した。

6年生は「学習にとまらず、地域のために自分たちのできることをやりたい」と、公園の清掃を発案。むつみ会と共同作業することにした。

この日は6年生5人とむつみ会の会員約10人が参加し、公園の案内看板や季長

顕彰の碑などを磨いた。6年生の岩見陽菜さんは「長年使われている大切な場所なのでやりがいがあった」と、むつみ会の会員で地元区長の飯田豊さん（79）は「メンバーが高齢化しているので、子どもたちの参加はうれしい」と喜んだ。

（清島理紗）



竹崎季長を顕彰する碑を清掃する
海東小児童ら 1日 宇城市

◆これまでの海東とこれからの海東について考える◆

創立150周年を迎えるあたりに、「これまでとこれからの海東」について子ども達が考える機会を作りたいということを私は一番に考えました。子ども達は今の海東のことしか知りません。これまでの海東の歩みを知ることで、ふるさと海東の素晴らしいを実感することができると思います。これまでの海東の歩みを大切にする思いを、これから海東を大切にしていきたいという思いにつなげていきたいと思っています。

これまでに子ども達と「今の海東小の頑張っていることや素晴らしいところを話し合う」取組と「未来の海東について考える」取組を行ってきました。未来の海東については、200周年の頃（今の高学年が校長先生くらいになった頃）をイメージして、それぞれの子ども達に未来の海東への願いを考えもらいました。右は集約したものに投票（1人3個選択）した結果です。子ども達の思いが伝わってきました。（次号につづく）

● 大切なでんとうを うけついでいてほしい	25
● 元気いっぱい 笑顔いっぱいの 海東	20
● みんながやさしく たすけあう	24
● 子どもを 見守るちいき	5
● えがおのあいさつが ひろがる	15
● いってきま～すの 声が聞こえる	3
● しぜんがいっぱい のこっていてほしい	16
● 住んでいる人が ふえてほしい	9
● ごみひとつない きれいな地域	13
● しょうがや米等の たくさんぶつをうけついでいてほしい	4
● さいごまで あきらめない	7